

平成12年度

稲作情報

浜通り版
第2号

平成12年6月2日

「ふくしま新世紀農業・農村確立運動」県推進本部

発行：福島県米稲作情報編集会議

編集：福島県農業試験場相馬支場

直播栽培等新技術の導入と地域特性を活かした米づくりを進めよう！

置き苗の早期処分と葉いもちの予防を！

当面する技術ポイント

有効茎早期確保のための水管理の徹底

- 1 出葉は平年より2～3日早く、草丈はやや長めである。今後も浅水管理を中心に、気象条件に対応した水管理で早期に目標茎数の確保を図る（表1・3）。
- 2 目標茎数を確保した圃場では、直ちに中干しを実施する。

置き苗の早期処分と葉いもちの予防

- 1 補植用の置き苗は、葉いもちの発生源になるため早急に処分する。
- 2 葉いもちの粒剤による予防散布は、遅くとも6月中に実施する。

初期病害虫の適期防除

- 1 イネドロオイムシなどの初期害虫は、発生状況により防除を行う。
- 2 黄化萎縮病の常発地では冠・浸水後はもちろん、発生をみたら早期にメタラキシル剤による防除を行う。使用時期は6月いっぱいとする。

除草対策

- 1 ノビエが残存した圃場ではシハロホップブチル剤や中期剤により処理する。
- 2 オモダカ、クログワイ等の難防除雑草が多発する圃場では、ベンタゾン剤が有効である。

直播栽培のポイント

- A 直播共通
- 1 出芽はやや遅れ、目標苗立数はやや不足した（表2）。
 - 2 現在の葉齢は3～5葉である。
 - 3 イネヒメハモグリバエやイネドロオイムシなど初期害虫の防除も発生に応じて実施する。
- B 湛水直播
- 1 生育の促進を図るため、浅水～間断灌漑を基本とするが、株元が不安定な圃場では2～3日の落水期間を設け、根張りを促進させる。
 - 2 圃場内に作溝し、間断灌漑、中干し期の水管理を容易にする。
 - 3 ノビエが残存した圃場では、ノビエ3葉期までにシハロホップブチル粒剤を散布する。また、表土剥離やアオミドロ等の発生が多い圃場ではACN剤を散布する。
- C 乾田直播
- 1 畦畔ぎわのイボクサにはビスピリバックNa塩（2%）液剤が有効である。
 - 2 湛水後は、窒素追肥（0.4～0.6kg/a）と移植栽培に準じた除草剤散布を行う。

麦作のポイント

- 1 麦類の成熟期はほぼ平年並みと予想される。今後は予報に注意しながら、適期収穫に努める。
- 2 乾燥は大麦13%、小麦12.5%を目標水分とする。
- 3 調製は網目2.2mm以上を使用し、未熟粒の混入を防ぐ。

大豆作のポイント

- 1 転作大豆の場合、湿害防止のため明渠等による排水対策と石灰質肥料の施用を行う。
- 2 種子の良否が収量・品質に影響するので、種子の更新を行う。
- 3 播種適期は6月いっぱいであるが、播種が遅くなるにしたがい栽植本数が少ないと雑草害や莢数不足により、収量が低下しやすいので注意する（表4）。

気象経過と今後の予想

- 1 気象経過：5月上旬中旬は少照で気温日較差の少ない日が続いたが、下旬は高温多照となった。
- 2 今後の予想（向こう1か月）
 6月3日～6月9日：低気圧と高気圧が交互に通る、天気は周期的に変化するでしょう。オホーツク海高気圧の出現があって、気温の変動が大きい見込みです。
 平均気温は平年並みの見込みです。
 6月10日～6月23日：前線や低気圧の影響を受け、平年に比べて曇りや雨の日が多いでしょう。
 平均気温は高い見込みです。

生育状況

表1 生育状況（相馬支場 5月10日移植）

品 種 名	年 次	発 根 調 査			5月30日			主 穂 出 葉 日		
		根数	根長	根量	草丈	葉数	茎数	4 葉	5 葉	6 葉
		(本)	(cm)	(本・cm)	(cm)	(葉)	(本/m ²)			
初 星	2000	6.9	5.6	38.6	22.1	5.1	190	5.18	5.25	5.29
	1999	5.1	4.7	24.0	20.8	4.9	217	5.20	5.25	5.31
	平年	5.5	2.5	13.8	19.6	4.5	168	5.20	5.26	6.1
ひとめぼれ	2000	7.8	5.4	42.1	22.7	5.4	179	5.17	5.24	5.28
	1999	6.4	6.3	40.3	22.0	5.3	205	5.18	5.24	5.29
	平年	6.2	3.4	21.1	20.5	4.6	142	5.20	5.26	5.31
コシヒカリ	2000	4.5	4.3	19.4	26.5	5.1	133	5.19	5.25	5.29
	1999	4.1	4.8	19.7	24.2	4.7	195	5.21	5.26	6.1
	平年	4.0	2.8	11.2	23.6	4.4	127	5.21	5.27	6.1

活着は良好。

5葉、6葉とも出葉は平年より2～3日早い。
草丈はやや長く、茎数もやや多い。

管内の生育も、移植直後の上中旬が例年より無風で経過したため、全般的に順調である。

表2 直播圃場の生育概況（品種：ひとめぼれ 5月29～31日調査）

調 査 地 点	直 播 の 種 類	年 次	播 種 期 (月日)	苗 立 数 (本/m ²)	葉 数 (葉)	特 記 事 項
農試相馬	早 播 乾田条播	2000	4.14	114	2.4	5月22日出芽揃
		1999	4.15	174	3.9	5月14日出芽揃
	標 準 播 乾田条播	2000	4.26	161	2.1	5月22日出芽揃
		1999	4.23	217	3.0	5月15日出芽揃
原町市高	地下灌漑 乾田条播	2000	4.17	193	2.2	5月20日出芽揃
		1999	4.23	143	3.1	
相馬市柏崎	乾田条播	2000	4.15	181	2～2.5	
浪江町立野	乾田条播	2000	4.16	171	3～4	コシカ 6.1入水
いわき市大浦	湛水条播	2000	5.1	良好	3.5～4	まなむすめ

当面する技術ポイントの基礎データ

表3 有効分げつ決定期の目標形質

品 種 名	移 植		水 稲		直播水稻	
	コシヒカリ	ひとめぼれ	たかねみのり	日本晴	ひとめぼれ	平坦部全域
地 域 地 帯	相双	いわき	相双	相双	山間地	いわき
苗の種類・播種様式	中苗	稚苗	稚苗	稚苗	中苗	稚苗
移植期・播種期(月/日)	5/ 5～15	5/10～15	5/15～25	5/10～20	5/15～25	5/10～15
有効分げつ期(月/日)	6/20～25	6/20～25	6/20～25	6/20～25	6/20～25	6/20～25
草 丈 (c m)	30～35	30～35	25～30	30～35	40	30～35
茎 数 (本 / m ²)	450～500	500～550	530～580	480～530	400～450	500～550
葉色(カラスケール)	4.0～4.5	4.0～4.5	4.5	4.5～5.0	4.5～5.0	4.5～5.0
						4.0

表4 大豆の播種量・施肥量の目安

播種時期	畝間 (cm)	株間 (cm)	栽植本数 (100本/10a)	基肥窒素量 (kg/10a)	播種量 (kg/10a)
標 播(6月上旬)	70～75	20～30	130～140	2.0～2.5	3.3～3.5
晩 播(6月中旬)	70～75	14～15	190～210	2.5～3.0	4.8～5.3
極晩播(6月下旬)	70～75	9～10	260～290	2.5～3.0	6.5～7.3

注) 播種量はスズユタカを用いた場合の一例

あぜ道

最近、天体と気象に関連性があるという話を聞いた。木星は12年周期で太陽に近づいたり離れたりする。最近では最も離れた平成5年が冷夏、近づいた平成11年が暑い夏となった。木星と金星の動きに注目すると、今年は昭和51年型の天候になるのでは・・・？

そうなると、親潮の南下にともないヤマセが発生し、高温と低温が交互にくる不安定な夏が予想される。そんな心配ごとを言っていた普及員もいたな、と笑える秋を迎えたいと思う。

(双葉地域農業改良普及センター H・I)

次号発行は6月22日予定